

6年生保護者の皆様

江戸川区立鹿本小学校

校長 太 卷 美 青

令和4年度 「全国学力・学習状況調査」結果および分析（成果と課題）

令和4年4月19日に実施した「全国学力・学習状況調査」（全国の小学6年生を対象）の結果をもとに成果と課題を分析しましたのでお知らせいたします。

※○は、良い点、▲は、課題点です。

※「平均」は「平均正答率」の略です。

【国語】

	知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	平均
本校	65.1	45.3	45.3	55.8	56.0
東京都	71.4	69.1	51.3	72.1	69.0
全国	69.0	66.2	48.5	66.6	65.6
全国と本校の差	-3.9	-20.9	-3.2	-10.8	-9.6

○「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」問題では、全国・東京都の平均を上回っていました。引き続き、習った漢字を正しく使えるよう、指導をしていきます。

▲全ての領域の平均正答率が、全国・東京都を下回っています。基礎・基本の知識を身に付けさせるために、授業中のルールの徹底や家庭学習の充実を図ります。また、分かる授業の工夫に取り組んでいきます。

▲「話すこと・聞くこと」の領域において、全国平均よりも20%下回っています。中でも「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考える」問題では、正答率が23.3%でした。（全国平均47.7%）話し合いの様子から、自分の考えをまとめ文章に表すことが苦手な傾向にあることが分かったので、学習の中で話し合いの場を増やしたり、自分の考えを文章に表す時間を増やしたりして、改善を図っていきます。

▲「読むこと」の領域において、全国平均よりも10%下回っています。中でも、「人物像や物語の全体像を具体的に想像する」問題では、正答率が46.5%でした。（全国平均68.3%）物語から登場人物の気持ちを考えて、文章に表すことが苦手な傾向にあることが分かったので、今年度の研究主題にもなっている「読みの三様態」により物語文の読解力を向上させ、改善を図っていきます。

【算数】

	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	平均
本校	63.6	55.8	44.2	62.8	56.0
東京都	72.1	68.6	57.6	72.4	67.0
全国	69.8	64.0	51.3	68.7	63.2
全国と本校の差	-6.2	-8.2	-7.1	-5.9	-7.2

○「被除数に空位のある整数の乗法の計算をする」問題と「二つの数の最小公倍数を求める」問題では、全国の

平均を上回っていました。

▲全ての領域の平均正答率が、全国・東京都を下回っています。引き続き、基礎・基本の知識を確実に身に付けさせるとともに、児童の身近なことから課題を見付け、解決したことを実生活に生かしていけるように指導を行っていきます。また、今後も朝学習や家庭学習・自主学習等に東京ベーシック・ドリル等を活用して、基礎・基本の定着を図っていきます。

▲「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述する」問題では、正答率が全国・東京都の平均を大きく下回りました。問題文を読み、文章から読み取ったことをもとに立式することや、その式になる理由を説明することが苦手な傾向にあることがわかりました。普段の学習の中で、自分の考えを書くときに、式だけでなく理由も書かせ、説明することが習慣づくように改善を図ります。

▲「図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解する」問題では、正答率が全国・東京都の平均を大きく下回りました。図形のかき方や図形を書く手順を論理立てて説明することが、苦手な傾向にあることがわかりました。図形の書き方の復習をするとともに、その手順を言葉で説明することができるよう、練習問題に取り組みせ、改善を図ります。

【理科】

	「エネルギー」を 柱とする領域	「粒子」を 柱とする領域	「生命」を 柱とする領域	「地球」を 柱とする領域	平均
本校	40.1	46.5	71.2	49.8	53.0
東京都	53.4	62.4	77.4	67.7	65.0
全国	51.6	60.4	75.0	64.6	63.3
全国と本校の差	-11.5	-13.9	-3.8	-14.8	-10.3

○「観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えを持つ」問題では、全国・東京都の平均を上回っていました。

▲全ての領域の平均正答率が、全国・東京都を下回っています。引き続き、基礎・基本の知識を確実に身に付けさせていけるよう、指導の改善を図ります。

▲「夜の気温の変化について、他者の予想を基に記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ」問題では、正答率が、全国・東京都の平均を大きく下回りました。夜の気温の変化の仕方を理解しきれていないことと、グラフの見方に苦手な傾向があることがわかりました。気温の変化については、復習問題に取り組みせ、グラフの見方については、算数科の学習と関連付けながら指導し、改善を図ります。

▲「鉄棒に付着していた水滴と水の粒は、何が変化したものかを書く」問題では、全国・東京都の平均を大きく下回りました。空気中には、水が水蒸気となって含まれていることや水蒸気が冷やされると水に戻ることが理解しきれていないことがわかりました。水の三体変化と空気中に含まれる水蒸気についても一度復習し、改善を図ります。